

分離精製技術の未来を拓く

Create the Future of Purification and Separation Technology



YMC



【分取装置/連続クロマトグラフィー装置】
HPLCシステムやバイオクロマトグラフィーシステム、中圧と高圧の機能を兼ね備えた分取装置や、2本のカラムを用いる独自のプロセスで精製効率の飛躍的向上を実現する連続クロマトグラフィー装置など、少量から大量分取まであらゆるスケールに対応し、お客様のニーズに応えています。



【受託精製/受託合成】
世界の製薬企業、食品企業などから依頼を受けて、医薬品原薬、オリゴ核酸、ペプチド、キラル化合物などを精製しています。GMP対応の医薬品精製プラントでは、バイオ医薬品など付加価値の高い物質の受託精製を実施し、事業領域を拡大しています。また、受託合成ではオリゴ核酸、ペプチド、キラル化合物などを生産しています。

16
PAGE



【受託精製/受託合成】

職場環境は、分取精製に必須の3要素「充填剤、カラム、装置」を最新の自社製品で備える医薬品精製プラント。また、リサイクル分取、超臨界流体クロマトグラフィー（SFC）、疑似移動床（SMB）などの先端技術を使ったシステムを取り入れ、より効率的な分取精製を実施しています。

17
PAGE



【品質保証/品質管理】

「当社の信頼」を支える非常に重要な部門です。ISO、GMPなど、世界基準の品質管理体制の下、原材料から最終製品に至るまで、厳しい試験と検査を行い、クリアした製品だけを出荷しています。専門知識のあるスタッフが製造部門や研究開発部門と連携して問題の改善・解決に努め、より高度な品質保証体制づくりに取り組んでいます。

18
PAGE



【国内営業/海外営業/営業企画】

既存マーケットの拡大、新規開拓など、お客様、エンドユーザー、その先の社会を見据え、スピード感をもってグローバルに日々奔走しています。また、コンサルティングではお客様の仕事を理解したうえで、課題を見出し、それらを解決していくサービスをトータルソリューションとして提供していくことが使命です。お客様と継続的な信頼関係を構築できるかが営業マンとしての成功のカギです。

12 ~
PAGE

従業員の業務

12
PAGE



【充填剤/分析カラムの研究開発】

研究開発では、チームを構成し、基礎研究、新製品開発、既存製品の改良、技術情報の蓄積と提供、技術セミナーなどを行っています。先端技術企業や、大学との共同研究により学術領域における専門知識を深め製品開発に生かしています。

13
PAGE



【連続クロマトグラフィーによる精製メソッド開発】

連続クロマトグラフィーは、最先端の精製メソッドであり、特にバイオ医薬品の製造において大変有用です。当該技術を用いることで、製造原価を劇的に削減できる可能性があり、高価なバイオ医薬品の製造プロセスへのブレークスルーが期待されています。

14
PAGE



【分取装置・大型カラムの開発製造】

HPLCのハードウェアやソフトウェアの豊かな知識を持ったチームが、新製品の開発や既存製品の改良を行っています。当社充填剤のパフォーマンスを最大限に引き出し、世界の様々なニーズや規格に対応する競争力のある製品を創り出すのが使命です。

15
PAGE



【充填剤/カラムの製造】

生産する品種やスケールに合わせて様々な設備を使用します。多くの基準・規格をクリアした最新設備とクリーンな環境が構築されています。技術的な部分においては研究開発に生産データをフィードバックし日々製造技術の改善に取り組んでいます。

19 ~
PAGE

先輩社員からのメッセージ



先輩社員からのメッセージ

22
PAGE

会長・社長メッセージ

23
PAGE

企業理念



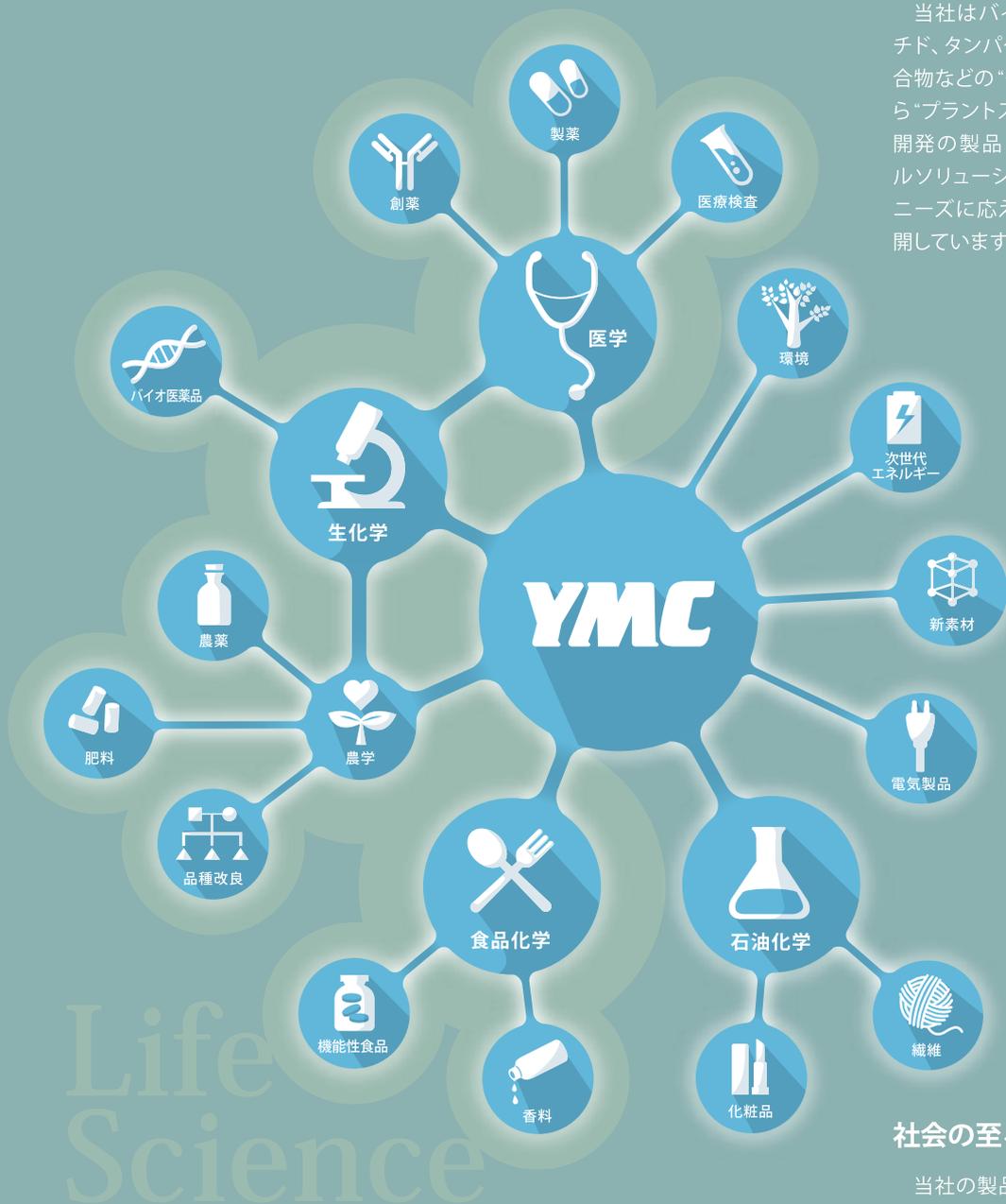
ニーズの高い分離精製技術のパイオニアとして

常に挑戦を続ける 研究・開発型企业です

当社が創業以来、コアテクノロジーと位置づけて、この普及とともに歩んできた分離精製技術「高速液体クロマトグラフィー (HPLC)」。

当初、このHPLCの常識はラボスケール分析の利用のみでしたが、当社はそうした少量分析からは考えられないほどの大量生産向け分離精製(分取)に応用することに成功。以後、現在に至るまでこの分野のパイオニアとして邁進してきました。

当社はバイオ医薬品治験原薬、ペプチド、タンパク質、オリゴ核酸、キラル化合物などの“クロマトグラフィー分析”から“プラントスケール分取”までを、自社開発の製品・サービスによってトータルソリューションとして提供。あらゆるニーズに応える事業をグローバルに展開しています。



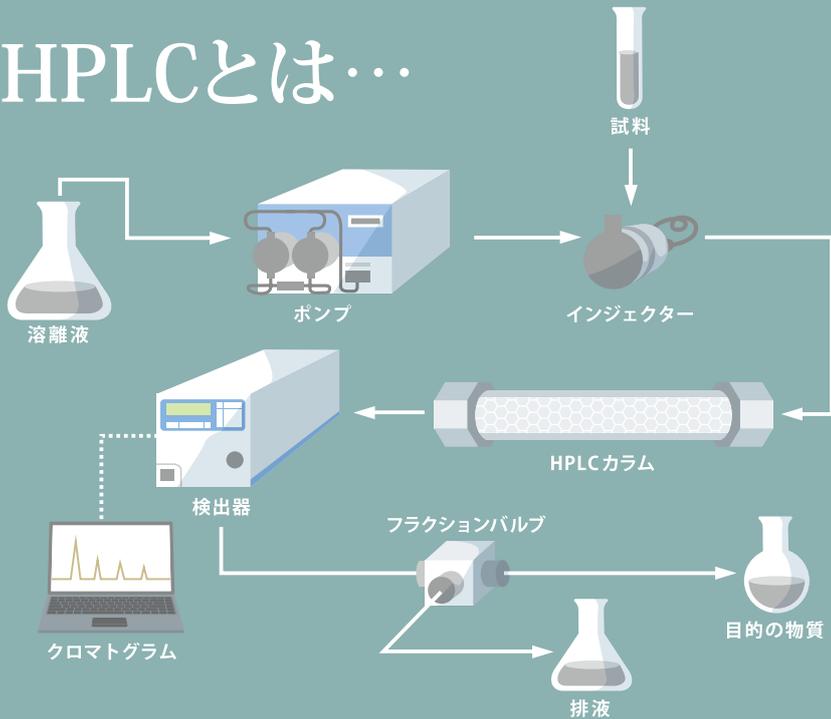
社会の至るところに提供

当社の製品・サービスは、生物学、医学、薬学などを総合的に研究する「ライフサイエンス」をはじめとした様々な研究機関や、世界の人々の健康や暮らしに関わる分野の生産拠点で、広く利用されています。

分析・分離技術の一つ HPLCとは…

HPLCとは、High Performance Liquid Chromatographyの頭文字を組み合わせた略語で、日本語では一般的に「高速液体クロマトグラフィー」と呼ばれています。分析・分離技術の一つで、試料中の成分を物質ごとに分け、何が含まれているのか(定性)、どのくらいの量が含まれているのか(定量)を分析したり、目的の物質だけを取り出したりすることが出来ます。

クロマトグラフィーには様々な手法がありますが、当社ではHPLC技術を応用し、カラムクロマトグラフィーやイオン交換クロマトグラフィーなどの充填剤、カラム、分取装置(クロマトグラフ)を製造、販売しています。



先端科学の現場のみならず、医薬品、健康機能食品、医療検査、環境調査、電子機能素材など、私たちの生活に密接な分野に、当社の製品・サービスが関わっています。



医薬品製造の分離精製(分取精製)工程

バイオ医薬品製造工程



医薬品の中間体製造工程



HPLCの技術力、製品力を生かし

トータルソリューションを提案

ラボスケールからプラントスケールまで、HPLC用充填剤、HPLC用カラム、分取システムを自社で開発、製造、販売する「世界で唯一の事業形態」が、当社の強みです。さらに、分離メソッドの開発/コンサルティングや、GMP対応の受託精製も加え、トータルソリューションとして提案。医薬品、食品など様々な分野の企業で、当社の技術や製品が役立てられています。



HPLC 用カラム



連続クロマトグラフィー
システム



HPLC 用充填剤

コア技術 分離精製

HPLCに関する製品をトータルで提供



分取クロマトグラフィー
システム



受託精製・受託合成



K-Prep LAB/DAD-50

研究開発 (mg)

連続クロマトグラフィーシステム



検討用ラボ機
Contichrom CUBE



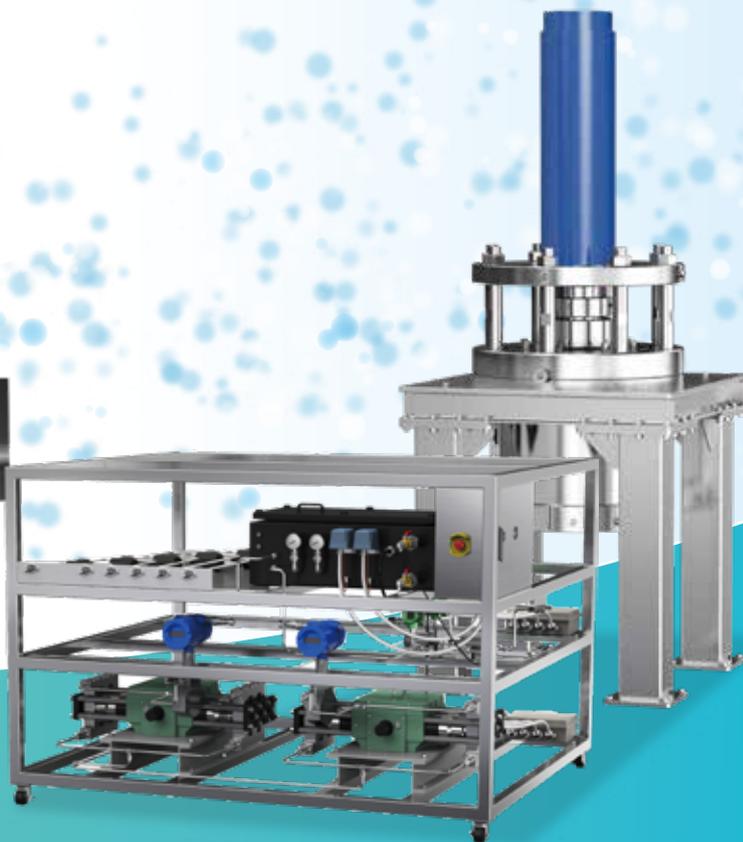
GMP対応生産機
Contichrom TWIN



分取クロマトグラフィーシステム



K-Prep FC/DAD-150



K-Prep EX/DAD-1000

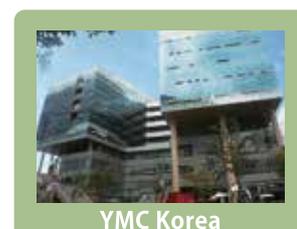
スケール

生産 (ton)

全世界を網羅する

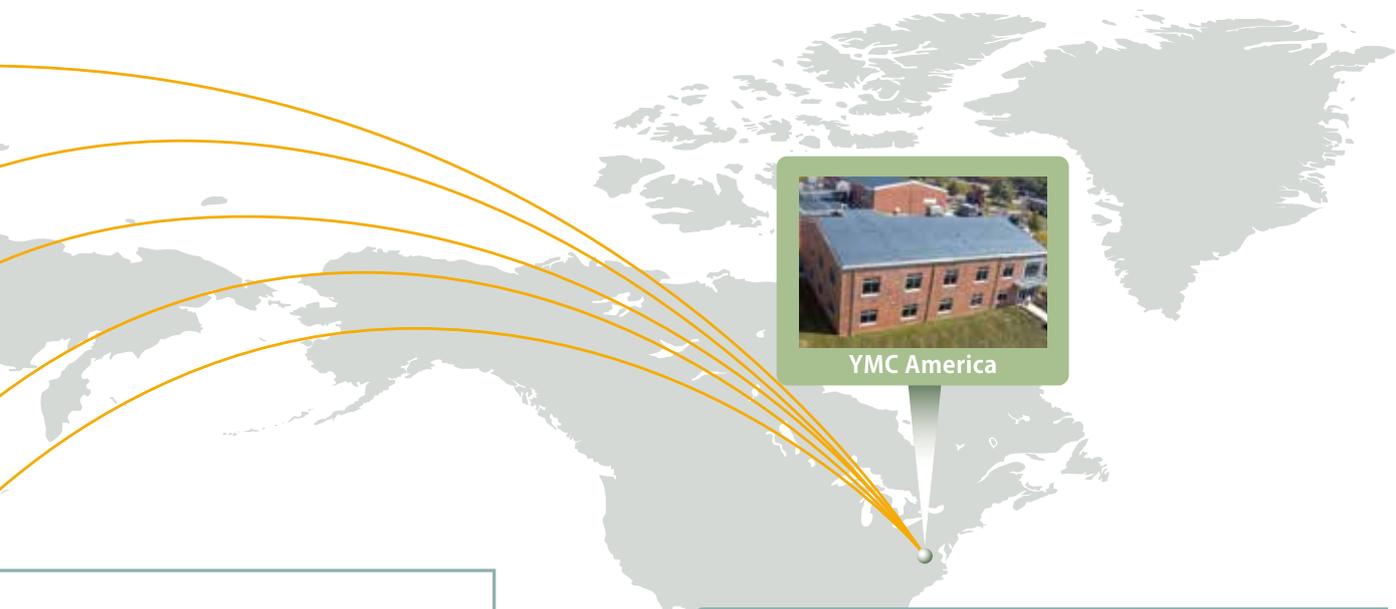
グループネットワークを構築

ワイエムシィでは、グループの国内外拠点を通じて、全世界への製品供給体制とサービス体制を構築。経済発展や人口増加が見込まれ、それに伴って医薬品・機能食品の需要が高まると予想される国や地域を中心に、引き続き拠点拡大を計画しています。



- YMC America, Inc. (アメリカ)
- YMC Europe GmbH (ドイツ)
- YMC Switzerland LLC (スイス)
- ChromaCon AG (スイス)
- YMC India Pvt. Ltd. (インド)
- YMC Korea Co.,Ltd. (韓国)
- YMC Biotechnology Co.,Ltd. (中国)
- YMC Shanghai Rep. Office (中国)
- YMC Taiwan Co.,Ltd. (台湾)
- YMC Singapore Tradelinks Pte. Ltd. (シンガポール)

- 株式会社ワイエムシィ本社 (京都府)
- 株式会社ワイエムシィ京都事業所 (京都府)
- 株式会社ワイエムシィ伏見事業所 (京都府)
- 株式会社ワイエムシィ京都研究所 (京都府)
- 株式会社ワイエムシィ小松事業所 (石川県)



YMC America



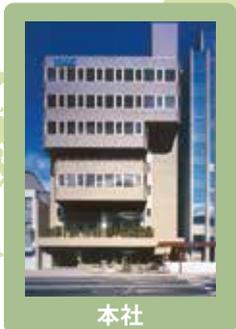
小松事業所



京都事業所



京都研究所



本社



伏見事業所

HPLCによる分離技術に不可欠な 製品群と連続クロマトグラフィー



HPLC用充填剤

高性能のHPLC用充填剤をはじめ、バイオ医薬品の精製に最適なイオン交換担体、キラル分離用充填剤など、様々なHPLC用充填剤をラインナップ。この中から、分離モードや粒子径などによって最適な充填剤を選択することで、低分子からペプチドやタンパク質などの高分子、キラル化合物まで、各種成分の精製に対応します。

また、HPLC分取システムやバイオクロマトグラフィー分取システムなど、分取のトータルソリューションも充填剤と併せて提供しています。



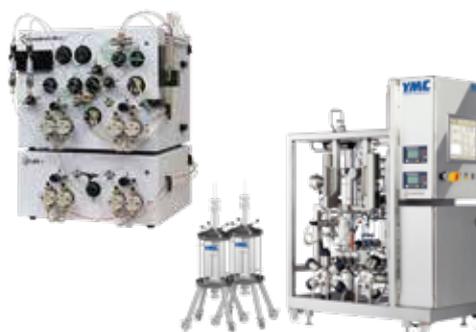
HPLC用カラム(パッキングカラム)

世界各国で使用実績があり、高評価を得ているHPLC用カラム。そのほか、バイオ医薬品の精製に有効なイオン交換クロマトグラフィー用カラムやキラルテクノロジー領域の光学異性体分離用カラムまで、幅広い分野の化合物を分離できる製品が揃っています。また、少量分析用から工場生産向け分取用カラムまで、サイズラインナップについても豊富です。



分取クロマトグラフィーシステム

少量から大量分取まで、あらゆるスケールや精製目的に対応したシステムをラインナップ。HPLCシステムをはじめ、サニタリー性に優れたバイオクロマトグラフィーシステム、中圧と高圧の機能を兼ね備えたりサイクル分離精製が可能な「LC-Forte/Rシリーズ」、防爆仕様の大型分取システムなど、様々なご要望に対応できる製品を揃えています。



連続クロマトグラフィーシステム

ワイエムシィの連続クロマトグラフィー精製システムでは、2本のカラムを用いた独自の連続精製プロセスで効率的な精製を実現します。従来の1本のカラムでの精製と比較して、抗体などのバイオ医薬品や、ペプチド、核酸などの中分子医薬品の精製コスト削減および生産性向上が期待できます。また、使用するカラムは2本のみでシンプルなシステム構成のため、分離メソッド設定や装置の管理が容易で環境にも優しいシステムです。

様々な受託事業を通して お客様が抱える課題にも対応



充填剤・カラムの受託研究/開発

創薬、食品、繊維、電気、環境といった分野の研究機関や、企業から依頼される高付加価値品の精製に最適な充填剤・カラムの開発を行っています。当社製品の組成をカスタマイズによって最適化したり、時には未知の素材を探索するなどして、お客様の抱える課題に応えています。



分離メソッド開発

光学異性体などを効率よく分離精製する際、リサイクル、SFC、SMBといった技術を使った手法やアプリケーションなどの分離メソッドを開発し、お客様に提供しています。



受託精製/受託合成

世界の製薬企業、食品企業の依頼により、医薬品原薬、オリゴ核酸、ペプチド、キラル化合物などを精製。GMP対応の医薬品精製プラント(小松事業所)では、バイオ医薬品など付加価値の高い物質の受託精製へも、事業領域を拡大しています。また、防爆仕様の大型分取システムや直径1,000mmを超える可動栓カラムを備えた多目的精製(小松事業所)では、数十~数百kg単位の精製を行っています。

一方、受託合成ではオリゴ核酸、ペプチド、キラル化合物などを生産しています。



プラントシステムの提案

顧客企業の要求仕様に合わせたプラントシステムを企画・提案。ハードウェアとソフトウェアの設計/開発から製造、エンジニアによる据え付け、アフターメンテナンスまで行っています。



提携/協業

様々な先端技術企業や大学とコラボレーションしています。

充填剤／分析カラム
研究開発部門

分離技術を探索し、充填剤を開発・改良する 研究開発部門

研究開発では、チームを編成して基礎研究、新製品開発、既存製品の改良、技術情報の蓄積と提供、技術セミナーの開催などを行っています。先端技術企業や大学との共同研究により、学術領域における専門知識を深めて製品開発に生かしています。

また、京都研究所と小松事業所の研究開発部門では、当社の充填剤、パッキングカラム、先端技術を駆使した分離メソッドの開発、バイオ医薬品の分析に最適な充填剤の研究を行っています。それぞれの拠点は離れていても同じテーマに取り組むなど、定期的な交流しながら研鑽しています。

若手社員も幅広く業務に参画しており、時には新製品の検討企画を任せることもあります。毎回、良い結果が出るとは限りませんが、失敗を恐れずに挑戦できる環境は若手社員にとって魅力になっています。



A. HPLC用充填剤「YMC®GEL」
B. 超臨界流体クロマトグラフィー(SFC)用カラム「Alcyon SFC」
C. バイオクロマトグラフィー用イオン交換カラム「YMC-BioPro」
D. ノンポーラスポリマー
E. ポーラスポリマー

新製品開発

試作 → 評価 → 改良 → 上市

既存製品の改良

製造技術の開発 ↔ 評価 → 製造工程へ移管



分離メソッド
開発部門

独自のプロセスで、精製効率の飛躍的向上を実現する

新技術・連続クロマトグラフィー



連続クロマトグラフィーは、最先端の精製メソッドであり、特にバイオ医薬品の製造において大変有用です。当該技術を用いることで、製造原価を劇的に削減できる可能性があり、高価なバイオ医薬品の製造プロセスへのブレークスルーが期待されています。世界最先端の技術を磨くことは容易ではありませんが、情熱をもって仕事に取り組む、失敗を恐れずに挑戦する姿勢が重要であり、大変やりがいのある仕事です。



分離メソッドの
開発

新技術・
分離メソッドの
探索

技術情報の
蓄積

お客様に提供
学会等での
技術セミナー



分取装置・
大型カラム
開発製造部門

工学×化学のエキスパートチーム

理化学装置を開発・改良

分取装置の開発では、HPLCのハードウェアやソフトウェアの豊かな知識を持ったチームが新製品の開発や既存製品の改良を行っています。当社充填剤のパフォーマンスを最大限に引き出し、世界の様々なニーズや規格に対応する、競争力のある製品を創り出すのが使命です。

HPLC用のカラムや分取装置は、医薬品の生産に欠かせない高純度の分取精製を実現するため、ナノ単位の精度が要求されます。また、ラボスケールからシームレスにスケールアップすることを考慮したシステム、ソフトウェア設計が当社の強みであり、世界の医薬品大手企業の原薬開発から大量生産への移管に大きく貢献しています。

理化学装置は用途や動作環境、材質などが千差万別で、ハード面でどのような動きになるかが理解できていないと、ソフトウェアの設計はできません。開発チームは常に関係部門と連携するため、設計以外の知識やノウハウを蓄積できる環境にあります。



A.ハイオクロマトグラフィシステム「BioStream」

B.防爆型分取HPLCシステム「K-Prep EX」

C.可動新式分取カラム「DAU series」

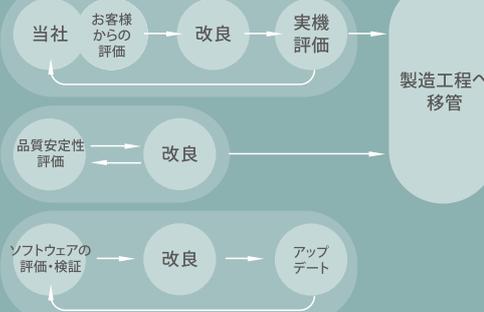
D.分取クロマトグラフィー「LC-Forte/R-II」



新製品開発

試作 → 実機評価 → 改良 → 上市

既存製品の改良



製薬業界で認められた厳格な管理体制のもと 多種多様な製品を製造



製造工場では、多くの基準・規格をクリアした最新設備とクリーンで安全性の高い環境を構築。世界のユーザーに向けて生産される製品の種類やスケールに合わせて、様々な設備を使用します。技術的なことに関しては品質管理部門や研究開発部門に生産データをフィードバックし、日々、製造技術の改善に取り組んでいます。主要な生産設備は二重化されており、万が一トラブルが起きてもお客様への安定供給に支障はありません。

製造部門と研究開発部門が同じ拠点内(充填剤・バックドカラムは小松事業所、理化学装置は科学機器事業部)にあるため、技術的な問題の解決がスピーディーに行われます。

より高品質の製品を安定的に製造しながら生産コストを抑えるためには、需要の予測から在庫管理、生産ラインや出荷・納品プロセスまでの調整が欠かせません。また、製品の製造に必要な部材を調達することも重要な要素です。したがって、購買先の選定や価格交渉など、製品の知識のみならず様々なスキルが要求されます。当社でいくつかの部門を異動就業すれば、自然に習得できるスキルです。



A. HPLC用充填剤「YMC®GEL」

逆相系、順相系など官能基の種類が豊富で、粒子径も豊富にラインナップ。高性能でコストパフォーマンスに優れ、国内のみならず海外でも広く使用されています。

B. HPLC用カラム「YMC-Triart」(高圧/超高圧)

使いやすい有機シリカハイブリッドカラムです。卓越した耐久性と優れたピーク形状・再現性で、高圧と超高圧間の相互のメソッド移行がスムーズに行えます。

C. 分取LCシステム「BioStream」

操作性に優れた高性能・高品質なシステムで、バイオ医薬品等の分取・精製プロセスに要求されるサニタリー性、スピード、高純度精製を実現します。

D. バイオクロマトグラフィー用アクリルカラム「YMC Pilotカラム」

カラム接液部はすべてノンメタル仕様でデッドボリューム等もなく洗浄が容易なハイジーン設計。オプションも豊富でカスタマイズのしやすさが強みです。

E. 可動栓式分取カラム「DAD Series」

経済性、耐久性、再現性に優れた自動自己充填型の可動栓カラムで、充填剤のカラムへの詰め替えを容易に行うことができます。

F. 分取HPLCシステム「K-Prep FC」

パイロットスケールの自動制御分取システム。PCによる全自動運転が可能でクロマトデータ、計器データを自動記録できます。



受託精製部門
受託合成部門

GMP対応の医薬品精製プラントを中心とした最新設備で 世界の医薬・食品企業を支える

ラボスケールなどの少量分析用から生産向けのプラントスケールまで、バイオ医薬品治験原薬、オリゴ核酸、ペプチド、タンパク質、キラル化合物、医薬品原薬などの高効率精製や合成を行っています。

医薬品精製プラント(小松事業所)では、GMP管理体制のもと、豊富なノウハウを持った技術者が対象物質を確実に精製。また多目的精製プラントでは、防爆仕様の分取システムや大型稼働柱カラムを駆使し数十～数百kgの精製を行っています。両施設共に分取精製に必須の3要素「充填剤、カラム、装置」は自社製品で、常に最新の装置・設備が揃う環境にあります。当社が開発する大型装置の運転評価は受託業務のスタッフが、得られたデータを開発部門にフィードバックし、製品の改良に役立てています。



品質保証部門
品質管理部門

世界基準の品質を作り出す

厳格な体制づくりとその維持



品質保証/品質管理は、「当社の信頼」を支える非常に重要な部門です。

品質保証部門は、ISOに沿った監査やお客様による監査対応を実施し、社会に当社の製品・サービスを保証します。また、お客様から日々寄せられる品質に関する声に応え、問題の改善・解決に努めます。

品質管理部門ではISO、GMPといった世界基準の品質管理体制のもと、原材料から最終製品に至るまで、厳しい試験と検査を行い、クリアした製品だけを出荷しています。

同じ品質の製品を安定供給し続けることは、決して簡単なことではありませんが、専門知識を有したスタッフが製造部門や研究開発部門と連携し、より高度な品質保証体制づくりに取り組んでいます。



営業部門
営業企画部門

お客様と継続的な関係を構築する

国内営業/海外営業/営業企画



販促/企業PR

営業企画部門では、販売促進やマーケティングのために、宣伝物や様々な企画を作成、実行しています。例えば、毎年国内外の多くの展示会に出展し、新規のお客様への販売につなげているのももちろん、市場ニーズをリサーチしています。また、顧客を集めての製品紹介セミナーや、研究スタッフによる専門的な技術発表のセッティングなども行います。



顧客サポート

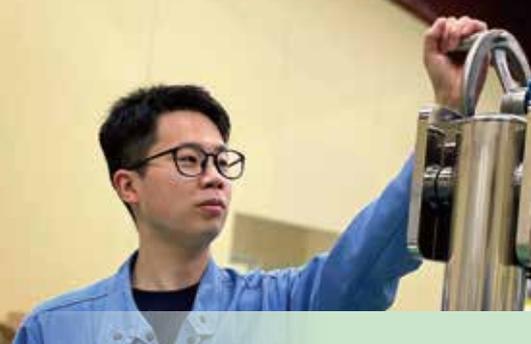
製薬・化学企業を中心に、研究機関の方々へ自社製品や技術情報を提供しています。また、お客様を訪問し、HPLCシステムの新規導入時の設置や保守点検、トラブルの迅速な対応も営業マンの重要な役割です。関係部門と協力して効率的なメンテナンスを行うと共に、製品改良に向けた情報収集を行い、ソリューションの提案をします。



マーケティングと コンサルティング営業

国内営業/海外営業部門では、既存マーケットの拡大や新規開拓に取り組むなど、お客様、エンドユーザー、その先の社会を見据え、営業マンがグローバルに、スピード感を持って日々奔走しています。

また、コンサルティングではお客様の仕事を理解した上で課題を見出し、それらを解決していくサービスを、トータルソリューションとして提供していくことがミッションです。お客様と継続的な信頼関係を構築できるかが、営業マンとしての成功のカギです。



先輩社員からのメッセージ



急成長する世界のバイオ医薬品市場、
より一層我々が扱う分離精製技術に
注目が集まっています

研究開発部門/R.Kさん

研究開発課では新製品開発へ向けたHPLC用カラム充填剤に関する研究、
現行製品のスケールアップや技術改良に取り組んでいます。実験における化
学的な知見のみに留まらず、生産設備や製品品質など、製品に関わるほぼ全
ての工程を学ぶことが出来ます。多くの関連部署の方々と連携を取りながら
たくさんのごことを吸収できるため、学生時代の専攻の違いで不安がある方
でも問題なく働けると 생각합니다。新型コロナウイルスによる時代背景もあり、分離・精製
技術の向上が世界中の製薬企業が行う創薬・医薬品製造の手助けに繋がる
ことを強く実感し嬉しく思います。

就職先を決めるにあたってはニッチな分野の当社も含め、興味が惹かれる
企業があれば飛び込んでみてください。



自分の手で一から作り上げた製品が、
世の中の医薬品業界を支えていることに
誇りとやりがいを感じています

装置カラム開発製造部門/Y.Kさん

私は、科学機器事業部で分取システムに用いる大型カラムの設計・製造・
検査を担当しています。お客様の要求に合わせた分取システムを作ることが
多く、部品作り込みからシステムを活用したサービスまでを一貫して手掛け
ており、これが他社にはない最大の強みであると感じています。この装置は
製薬・化学企業を中心に納品されているため、自分が担当した製品が医薬品
の精製等で活用されているところに誇りを感じますし、仕事のやりがいにつ
ながっています。

就職活動では、知らないことやわからないことがたくさんあるかと思いま
す。ぜひ、広い視野を持って、色々な人に話を聞いたり、会社説明会に参加し
たりして自分に合った会社を探してみてください。

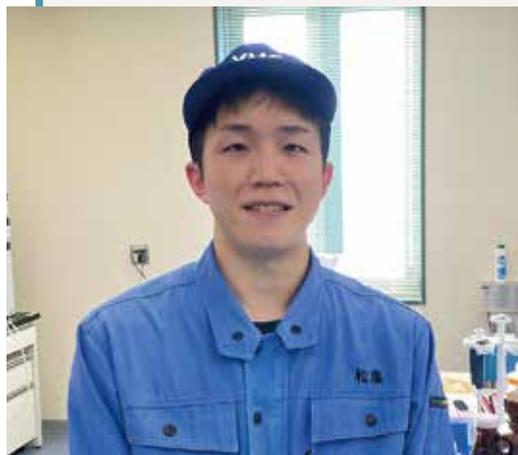


希少疾患患者を病から救うため、 強い責任感を持って仕事に携わっています

受託精製部門/T.Mさん

私たちの職場では希少疾患患者のための原薬を精製しています。精製した原薬は実際の患者様の体の中に入るものなので、責任感とともにやりがいを強く感じています。私たちの職場では患者様の国の規制に準じた製造を行う必要があるため、規制の内容や考え方を学ぶための場も用意されています。これらの知識は、医薬品業界では普遍的に必要とされるものであり、個人のスキルアップにもつながると感じています。

人々の命を支え、暮らしを守る社会的貢献度の高い仕事に誇りを感じています。



先輩社員をはじめ、周りの関係者と協力することで 仕事とプライベートを両立しながら 働くことができます

品質管理部門/S.Tさん

品質管理部門は製品の信頼性を保つキーセクションであり、私は充填剤の粒子物性検査や、充填カラムの性能検査を担当しています。社内はコミュニケーションがとりやすい環境で、業務上の疑問点は先輩社員に質問・相談しながら仕事を進められています。最近の休日は家で過ごすことが多いので、好きな映画鑑賞や美味しい食事などが楽しみのひとつです。仕事とプライベートで気持ちを切り替えることが出来て、仕事にも意欲的に取り組んでいます。

就職活動時は、プレッシャーを感じたり思い悩んだりすることもあるかと思いますが、皆さんが前向きに、そして肩の力を抜いて、自分自身を表現できるよう願っています。



育児制度を利用しながら3人の子育てと仕事を 両立し、自分のキャリアビジョンを叶える

営業企画部門/M.Sさん(管理職)

私は、製品カタログや技術資料の作成、技術セミナーの開催等の業務を行っています。様々な分野のお客様にワイエムシの製品をご使用いただき、それぞれの使用方法やニーズを把握するために、勉強会や情報収集によりスキルアップを図っています。

現在、3人の子どもを育てながら働いています。出産・育児休業を経て復職し、今は短時間勤務制度を利用しています。部署メンバーの協力や理解があり、子どもの行事や体調不良などによる休暇も取りやすい雰囲気です。子どもの成長に合わせて勤務時間を調整することで家庭と仕事を両立でき、15年以上にわたりこの会社で勤務しています。

皆さんもワークライフバランスの取れる、自分に合った会社をぜひ見つけてください。





研究開発部門/H.Kさん(管理職)

略歴

国立大学大学院を卒業後、2010年に入社し研究開発部門に配属。研究開発業務に携わる傍ら、戦略商材の製造立ち上げを経験。研究開発部で製品開発のノウハウを身につけ、2017年に製造部マネージャーを拝命。バイオ医薬品製造向け充填剤専用プラントの立ち上げや製品の技術課題の解決に取り組み、現在は研究開発部門の責任者を務める。

多くの部門を経験したことで得たモノづくりの奥深さや人脈が、現在の経営を補佐する立場での仕事のやりがいにつながっています

◆ 厳しい現実にあきらめながら掴みとった内定

私が入社した2010年は、リーマンショックの影響により就職氷河期に匹敵するほどの就職難でした。就職すること自体が簡単ではなく、希望の職種に就くことは更に狭き門でした。多くの学生が先の見えない状況にいる中、必死の思いで掴み取ったのがワイエムシの内定でした。入社後は研究開発部門に配属され、開発者としての仕事が始まりました。

◆ モノづくりの経験から生まれる喜びや自信

研究開発の仕事は、入社前に自分が想像していた以上に泥臭く、幅広い知識が必要でした。

モノづくりから検査までの一つ一つの工程を自分の手でやってみることから始まり、戦略商材の製造の立ち上げも経験しました。役割の異なる複数のメンバーで品質や製造工程についてディスカッションしながら、モノづくりを一つ一つ形にすることは、とても地味な作業ですが、自身の意見が直接反映される場面もあり、楽しさややりがいを感じる経験でした。

◆ 新たな挑戦で広がる視野と人脈

入社7年後には、製造部のマネージャーとなり、バイオ医薬品用途充填剤の製造プラントの立ち上げを手掛けました。製造＝モノづくりではなく、生産設備や製造工程の検討から、コスト管理まで、奥の深い仕事でした。また、製品の品質は製造のモノづくりにかかっており、製薬会社をお客様に持つ当社では、とても重要な役割を担っています。製造部での経験により、安定生産、品質、コストのバランスをより強く意識するようになったと感じています。

新たなフィールドでは、学ぶことが多く苦労もありましたが、格段に知識の幅が広がり、自然と社内の人脈が広がりました。

◆ 経験はかけがえのない財産

現在は研究開発部門の責任者を担っています。

製品の開発には、お客様のニーズ、モノづくりの工程、品質管理の基準、原材料の調達方法など、あらゆる情報が必要で、そこに携わるメンバーとのコミュニケーションも欠かせません。

安定的に生産出来ること、一定の品質水準が維持出来ること、低価格でモノづくりが出来ること、これらすべてが揃って初めて研究開発した製品が実を結びます。

モノづくりや製造部門での経験は、間違いなく現在の私の礎となり、開発者として非常に重要な経験だったと感じています。色々な部門を経験することは、自身の視野を広げ、活躍の場を広げることにも繋がると実感しています。

◆ 学生の皆さんへのメッセージ

皆さんも、チャンスがあれば、発想力豊かで柔軟性に富んだ若い時期に、出来るだけ多くの仕事を経験し、自らの知識に磨きをかけ活躍してもらいたいと思います。

会長メッセージ

「分離精製技術」で 世界のライフサイエンス分野を支える

約40年前に京都で分析用クロマトグラフィーメーカーとして創業した当社は、世界に先駆け「分離精製技術」を商用化に成功しました。以来、この技術を基に様々な製品を開発し、グローバルに展開してきました。

昨今、急成長する世界のバイオ医薬品市場のニーズは高まり、特に医薬・創薬・化学・食品・健康・環境などのライフサイエンス分野における「分離精製技術」は、人々の生活全般をより豊かにする為に欠かせない希少な技術となっています。

当社が誇る独自の分離精製技術は、例えば、複雑かつ高度な生産技術と設備が必要であるバイオ抗体医薬品（治療薬やワクチン）の製造に大きく貢献し、世界の有力な大手製薬会社から極めて高い信頼を得ています。この希少な独自分離精製技術を用いて、より良い社会づくりに貢献し、人々の暮らしや健康を支えることを使命としています。

これからも当社は、液体クロマトグラフィー専門メーカーとして、化学製品、機械装置、精製や合成の受託サービスなど、あらゆる自社技術で世界のライフサイエンス分野を支えて参ります。

社長メッセージ

当社は、独自の分離・精製技術を駆使して、液体クロマトグラフィー分野における様々なニーズに対応できる製品開発と供給を行っています。バイオ医薬品業界をはじめとするライフサイエンス分野において必要不可欠な技術やサービスを幅広く提供し、世界中の人々の豊かな暮らしに貢献することが当社の使命です。

科学技術の進歩において、モノづくりは欠かすことのできない存在です。世界をリードする数々のハイテク企業が京都から生まれたように、私どもの「モノづくり」にかけてきた情熱で、分離・精製技術の未来を切り拓き、世界で存在感ある会社でありたいと強く思っています。



代表取締役会長CEO 山村 隆治



企業理念

分離・精製技術を核にして、
科学の進歩と人類の未来に貢献します。

経営理念

常に時代を先取りする技術・製品開発に取り組む
グローバル企業を目指します。

行動指針

1. 「愚直であること」「誠実であること」を常とし、倫理観を持ち接します。
2. 志を高く、目線を正しく、情熱を持って全ての仕事に取り組みます。
3. 「チャレンジ精神」を忘れず、失敗を恐れず、新しい課題に挑戦します。
4. あらゆる人にとって明るく働きやすい職場環境を作りあげていきます。

会社説明会、セミナー開催

メールで申し込みください。

詳しくは当社ウェブサイトをご確認ください。
当社スケジュールにより日程のご調整をお願いする場合があります。
受入れ数に限りがあるため、申込をお受けできない場合があります。

YMC

お問い合わせ

株式会社ワイエムシィ 本社
総務人事部

〒600-8106 京都市下京区五条通烏丸西入醍醐町284番地

YMC烏丸五条ビル(烏丸五条北西角)

TEL.075-342-4510 FAX.075-342-4511

E-mail recruit@ymc.co.jp

URL <https://www.ymc.co.jp>

